

名 誉 会 員 追 悼



故 名誉会員 Einar Louis AMÉEN 君

社団法人日本鉄鋼協会名誉会員Einar Louis AMÉEN氏（スウェーデン）は1996年8月9日ご逝去されました。享年95才でした。

氏は1901年ストックホルム市に生まれ、1926年ストックホルムの王立工科大学（Royal Institute of Technology）を卒業、Norsk Staal A.S. および Uddeholms A.B. において主としてステンレス鋼の研究に従事した後、1947年から1966年までSurahammars Bruks A.B.の社長の重責にありました。その間スウェーデン鉄鋼連盟、スウェーデン鉄鋼協会（Jernkontoret）の役員に就任、殊にスウェーデン鉄鋼協会では共同研究会議長として同国の鉄鋼技術の進歩発展に指導的役割を果たされました。その他ストックホルム金属協会議長などの要職を歴任されており、これらの業績によりVasa 2等勲章が授与されています。また、1960年には王立理工学アカデミー会員に推挙されています。

氏は日本をはじめアメリカ、ヨーロッパ諸国との技術交流にも活躍され、1967年（昭和42年）には本会名誉会員に推挙されました。

名誉会員Einar Louis AMÉEN氏のご業績を偲び、会員一同心から哀悼の意を捧げ、ご冥福をお祈り申し上げます。

平成8年10月

社団法人日本鉄鋼協会 会長 野田 忠吉

Strängnäs Oct 10, 1996

Dear Sirs,

With regret I have to inform you that my father, Einar Améen, (ISIJ I.D. NO. 901273) peacefully passed away on August 9, 1996 at the age of 95.

Though he had had a stroke five years ago he luckily kept his mental abilities clear and among other things was reading your Journal regularly.

He very much appreciated the membership on the Iron and Steel Institute of Japan and frequently referred to the trips he made to Japan during the seventies. Trips that he enjoyed and that impressed him very much.

With my best regards

Sincerely

Louis Améen